

教員個人評価のあり方について

2006.6.15

[目的]

教育・研究を中心に本学の教員個人が行う諸活動について現状を把握し、適正な評価を行うことによって、大学としての社会的説明責任を果たし、あわせて大学運営の改善や教育研究活動の活性化のための指標とする。

[基本方針]

- ① 教員の個人評価は「教育」「研究」「大学運営・支援及び医療業務」「社会貢献」の4領域について行い、各教員は「自己評価申告シート（仮称）」に必要事項を記入し、年度ごとに部局長へ提出する。ただし、評価期間は単年度ごとではなく、各領域に応じて3～5年の適切な期間を設定する。
- ② 評価項目の作成に当たっては、大学情報データベースとの対応に留意するとともに、理系部局と文系部局との評価システムや評価観点の違いに配慮する。また、臨床活動など部局固有の評価項目については、各部局が実情に応じて項目の追加や削除を行うことができる。
- ③ 各領域ならびに各評価項目の重み付け等については、各部局がそれぞれの理念や目標に基づいて責任をもって行い、評価結果の利用方法についても同様とする。ただし、各部局の評価方針については、年度ごとの「部局自己評価書」に記載し、全学的に実施する部局評価ヒアリングの対象とする。
- ④ 教員個人評価は「マイナス評価」によって教員の序列化を行うものではなく、「プラス評価」を通じて教員の諸活動にインセンティブが働くような制度の構築を目指す。具体的なインセンティブの例としては、採用・昇任、給与査定（昇給制度、勤勉手当）、サバティカルの付与、海外研修、研究科長裁量経費による研究費配分、総長教育賞等への推薦などが想定される。
- ⑤ 出産・育児・介護等の休業、及び育児のための短時間勤務制度の適用があった者について、勤務の日数や時間に応じて評価するなど必要な配慮を行う。

2007.1.11 一部改正

2007.7.2 一部改正

(3) 平成〇〇年度の研究活動について、過去 5 年間の活動を背景に、以下の項目を中心にして特に貢献のあった事柄について記述してください (500 字以内)。

- ① 研究業績の公表状況 (著作、論文、学会発表、芸術作品、発明、等)
- ② 研究業績による受賞
- ③ 国際学会・国内学会等における招待講演、基調講演、シンポジウム提題者、等
- ④ 外部研究資金 (科研費、受託研究、委任経理金、等) の導入状況
- ⑤ その他特記すべき事項 (研究プロジェクトのリーダー、共同研究、産学連携、等)

[研究]

(4) 平成〇〇年度の大学運営・支援及び医療業務への関与について、過去 3 年間の活動を背景に、以下の項目を中心にして特に貢献のあった事柄について記述してください。(300 字以内)

- ① 大学運営に関わる役職 (役員、部局長、教育研究評議員、経営協議会委員、等)
- ② 全学委員会の委員長及び委員 (入試作題・採点委員を含む)
- ③ 部局内委員会の委員長及び委員 (副研究科長、運営委員、教務委員、等)
- ④ 各種の支援活動 (学術資源公開、情報ネットワーク管理、等)
- ⑤ 医療業務 (病院診療・看護、保健管理、産業医、等)

[大学運営・支援及び医療業務]

(5) 平成〇〇年度の社会貢献活動について、過去 3 年間の活動を背景に、以下の項目を

中心にして特に貢献のあった事柄について記述してください。(300字以内)

- ① 国、地方自治体、民間団体等の各種委員会委員、審査委員、評価委員、等
- ② 学会活動に対する貢献(学会役員、大会開催、編集委員、査読委員、等)
- ③ 国際交流活動に対する貢献(外国人研究者の受け入れ、学术交流協定締結、等)
- ④ 社会教育活動に対する貢献(公開講座、出前授業、サイエンスカフェ、法律相談、等)
- ⑥ その他特記すべき事項(社会貢献における受賞、地域貢献活動、NPO、等)

[社会貢献]

(6) 平成〇〇年度の教員活動について、上記の(2)～(5)の項目以外で「その他」として特記すべき事項(全学的プロジェクト、ワーキンググループなど特に繁忙または困難な業務、出産・育児・介護等)があれば、自由に記述してください。(300字以内)

[その他]

[教員個人評価のための根拠資料]

根拠資料は基本的に「大学情報データベース」から部局評価責任者が自動的に採録する。以下で（＊）は自己評価申告シートに対応する大学情報データベースの各カテゴリー画面名称、（＃）は対応項目がない事項、（・）は項目名を示す。

[教育活動に関する根拠資料（過去3年間）]

- ① 授業担当状況（新たな授業科目の開設、教育改善の努力等を含む）
 - ＊ **教育活動**－担当授業科目（他大学も含む）
- ② 学位論文（博士／修士／学士）の指導および審査（主査／副査の別）
 - ＊ **教育活動**－学生学位論文
 - ＊ **教育活動**－論文博士
- ③ 教育支援活動（教科書・教材の開発、学生相談、クラス担任、学友会活動の指導、等）
 - ＊ **教育活動**－その他教育上に関する活動
 - ＊ **学生支援**－教育相談（学生相談所、留学生センターなど）
- ④ 学振特別研究員、留学生、社会人等の受け入れ及びポストクの指導
 - ＊ **教育活動**－採用研究員
 - ＃ 学振特別研究員、留学生、社会人、ポストク等の受け入れ状況
 - ・ 種別と人数
- ⑤ その他特記すべき事項（実務教育、等）
 - ＊ **教職員略歴**－研修受講歴
 - ＊ **教育活動**－学内教職員支援
 - ＃ 国内・国外の他大学等における教育実績
 - ・ 非常勤講師、客員教授、特別講演など
 - ＊ **教育活動**－教育活動に関する受賞（指導大学院生・学部生の受賞を含む）
 - ＊ **研究活動**－その他の競争的資金獲得実績（注：教育COE，大学院GPなど）
 - ＊ **教育活動**－指導大学院生・学部生の発表件数

[研究活動に関する根拠資料（過去5年間）]

- ① 研究業績の公表状況（著作、論文、学会発表、芸術作品、発明、等）
 - ＊ **研究活動**－著書
 - ＊ **研究活動**－論文（＃）引用数（主に理系）
 - ＊ **研究活動**－総説・解説記事
 - ＊ **研究活動**－その他研究活動
 - ＊ **研究活動**－会議の発表・講演
 - ＊ **研究活動**－作品

- * **研究活動**－特許
- * **研究活動**－実用新案・意匠
- ② 研究業績による受賞
- * **研究活動**－学術関係受賞
- ③ 国際学会・国内学会等における招待講演、基調講演、シンポジウム提題者、等
- * **研究活動**－会議の発表・講演
- ④ 外部研究資金（科研費、受託研究、委任経理金、等）の導入状況
- * **研究活動**－科学研究費補助金獲得実績（文科省・学振）
- * **研究活動**－その他の競争的資金獲得実績
- ⑤ その他特記すべき事項（研究プロジェクトのリーダー、共同研究、産学連携、等）
- * **研究活動**－共同研究活動（#）共同研究における役割
- * **研究活動**－プロジェクト活動
- * **社会活動**－ベンチャー企業設立

[大学運営・支援及び医療業務に関する根拠資料（過去3年間）]

- ① 大学運営に関わる役職（役員、部局長、教育研究評議員、経営協議会委員、等）
 - # 役員、部局長、教育研究評議員、経営協議会委員等
- ② 全学委員会の委員長及び委員（入試作題・採点委員を含む）
 - * **学内運営**－学内活動
- ③ 部局内委員会の委員長及び委員（副研究科長、運営委員、教務委員、等）
 - * **学内運営**－学内活動
- ④ 各種の支援活動（学術資源公開、情報ネットワーク管理、等）
 - # その他、大学運営・支援に関わる活動実績
- ⑤ 医療業務（病院診療・看護、保健管理、産業医、等）
 - # 病院等における医療活動および医療支援
 - # その他、医療業務に関わる活動実績

[社会貢献に関する根拠資料（過去3年間）]

- ① 国、地方自治体、民間団体等の各種委員会委員、審査委員、評価委員、等
 - * **社会活動**－学会活動および外部機関における活動
 - # 国家試験、入試センター試験等の出題・採点委員、大学評価委員等
 - 公表できないものについては件数のみ
 - # 科学研究費等各種外部資金の審査委員等
 - 公表できないものについては件数のみ
- ② 学会活動に対する貢献（学会役員、大会開催、編集委員、査読委員、等）
 - * **社会活動**－学会活動および外部機関における活動

- * **研究活動**－会議の主催・運営
- ③ 国際交流活動に対する貢献（外国人研究者の受け入れ、学術交流協定締結、等）
- * **国際交流**－海外研究機関交流実績
- * **国際交流**－国際交流実績

- ④ 社会教育活動に対する貢献（公開講座、出前授業、サイエンスカフェ、法律相談、等）
- * **社会活動**－学外の社会活動（小中高との連携、公開講座、講演会・セミナー、展示会、ボランティア活動等）
- * **社会活動**－オープンキャンパス、研究所公開等
- ⑤ その他特記すべき事項（社会貢献における受賞、地域貢献活動、NPO、等）
- * **社会活動**－行政機関・企業・NPO等参加
- * **社会活動**－報道
- # 社会貢献による受賞